

関東アコーディオン演奏交流会 実行委員会ニュース

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>



QRコード

第33回
2号

2021.6.16 発行
編集 広報部

開催日 **9月12日**（日）に決定！

「独奏部門」会場：北区滝野川会館

お待ちしております！ 出場者募集始めます!!

- 詳細は、同封の募集要項、ホームページをご覧ください
- 新型コロナウイルス禍での募集となります。会館使用条件を満たすなど、参加者が安心して参加できるよう十分な対策をとり実施いたします。
- 今後、状況の推移により運営内容を変更する場合があります。ホームページ等で随時お知らせするので、時々ご確認ください。



目次

- 議事録より…2～8P
- 「東京アコーディオン研究会内部発表会」…9P
- ジャズピアニストチック・コリアを想う…10P
- ホワイトボード…11～12P

2021 9 September

Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat
1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30

「第 33 回」

関東アコーディオン演奏交流会

開催日：9 月 12 日（日）会場：北区滝野川会館

お待ちしております！ 出場者募集開始！！

拡大実行委員会での話合いでお分りのように、コロナ禍での感染防止対策を取りながら準備します。

☆今後、変更があれば随時ホームページ等でお知らせします。

拡大実行委員会（2021 年 4 月 18 日・日曜日）の Zoom 会議より 19:00 ~
参加者：池田 石橋 宇野 岡田 小神 織田 乙津 佐藤 柴崎（審査事務局）
田中 塚本 築山（五十音順、敬称略）

実行委員長（塚本） 事務局長（築山） 組織部（宇野・岡田） 企画部（小神） 財政部（織田） 広報部（乙津）

■4 月拡大実行委員会より（敬称略）

司会（築山）・・・みなさん今晚は。きょうの議題は、近況と 5 月の連休後に今年度の募集要項を発送するので、塚本さん、乙津さんとでつった原稿をたたき台にして決めるのと、あと、宇野さんが担当の仮チラシの検討、JAA の佐藤さんからの提案の話、その他ということで進めていきたいと思います。

乙津・・・音楽センターは、きょう 2020 年度の修了式がありました。5 月連休以降新年度の練習が始まります。きょうの修了式には、感染者が再び増え続けているので、南部教室は代表でキャップが出席し、3 月に行ったスプリングコンサートでの合奏「オー・シャンゼリゼ」を動画で見て頂きました。

佐藤・・・僕は金曜教室として、きょうの修了式と演奏会に出てきました。南部と東部はビデオでしたが、北部、三多摩、土曜、金曜の教室は参加しました。結構楽しく盛り上がりのある修了演奏会だったかなと思います。金曜教室は、コロナでずっと来ていない方も 2 名ほどいらっしゃるけれど、きょうは 6 名で演奏してきました。

あと、JAA の方からは、前回申し上げました「楽器講座」(※) が正にいま開催中ということで、こんどの土曜日が最終締切りになります。興味のある方は是非申込みいただきたいと思っています。(※その後申し込み締

め切りは 5 月 23 日、日曜日まで延長された)

塚本・・・横浜アコは、みんな元気だけれど今は発表会とかの時期ではないので内輪で練習しています。

石橋・・・三多摩教室は今まで 9 人でしたが、男性 2 人が抜けて、5 月からは 7 人でスタートします。きょう音楽センターの修了演奏会がありまして、2020 年後期の締めくくりということで演奏をしてきました。

3 月のオーディションの中級 V/VI 課程で入選した安藤直彦君が独奏を、私と安藤君とがデュオで参加、あと合奏です。

やはり、コロナが心配で参加ができない人が 1 人いたけど、その方が抜けたところは抜いて、こういうご時世だからいろんなパターンがあるんじゃないかなということで合奏もしてきました。あと、修了演奏会全体で、先程佐藤さんもおっしゃっていたように、神奈川県「南部教室」と千葉県「東部教室」はリモートで参加という形でしたけれど、東武教室はビデオで一人一人自己紹介出来たりそれもいいなと、あと南部教室のコンサートの時の演奏がもう 1 回観られて、リモートもいいかなと思いました。

それと、私の友達から、コロナが怖くて新大久保まで行けなかったっていうメールがあったんですね。確かに、帰りに車で新大久保駅前を通ったけれど、ものすごい人混みで、

それぞれ飲食していて、う～ん、これは大変なことだなと思いながら、私たち三多摩教室の仲間は新大久保を利用しないようにルートを考えて、反対側の東新宿駅を使いました。コロナっていうのは結構大きな要因になるのかなと思いながら、今日音楽センターで、修了演奏会が出来たのは、かなり皆さん努力して、奇跡に近いような感じでやったのかなあとの感じがしました。

宇野・・・ともしびの方は、なんとか、YouTubeにもう1曲ぐらいアップしようかなと考えていて、いま練習しているのが「山小屋の灯」です。今のところ以上です。

小神・・・土曜教室も、みなさんと同じようにきょう修了演奏会があって、修了式の後演奏しました。小中さんという新人の女性が3月7日に行われたオーディションの中級Ⅰ/Ⅱ過程で入選の1位になったので独奏をしました。素敵な演奏でしたね。それに続いて6人で「ハウルの動く城」を合奏しました。私が蛇腹を止める上のボタンを閉じたまま始めてしまい、最初の一番肝心な音が出せなくて慌てたけれど何気なく外してやっていました。(全然わかりませんでした)

土曜教室は5月29日(土)に音楽センター地下ホールで発表会をします。チラシも出来ました。ただ、観客が20人位しか入らないので、すでに予約で埋まっています。なので、当日のライブ配信をしようと、佐藤さんと相談、協力を受けながら準備しているところです。(後日、6月12日に延期との連絡あり)

織田・・・アンサンブル小川の方は、もうしばらくお休みで、プチマルカートも1度おしまいになったので、団体としての活動はいまはゼロなんですけれども、計画は立ててありますし、それぞれ各自練習もしているので、今の状況がよくなるのを待ちながら各自我慢の練習という感じです。

池田・・・ちょっと、足が痛く歩けない状態です。(無理をしないで近況をお知らせください)いま普通の椅子に座っているんだけど、この姿勢も結構つらくて、そんな状況

だから頭の中が全然働いてない。

築山(司会)・・・私も、アンサンブル小川はお休みだし、三AC(三多摩アコーディオンサークル)も今お休みで、アコーディオンに触れていないので大丈夫かなとちょっと思っています。職場が移動してばたばたやっています。

柴崎先生、岡田さんがうまくつながらないようなのでアコ研の近況をお話頂けますか

柴崎(アコ研に替わって)・・・アコ研は4月4日(日)に内部発表会をやりました。ただ、この状況だから、他の人を入れるのは・・・、ということで本当に内部の内部の内部だけの発表会でした。普段は、アコ研っていうのはいわゆるオーケストラの形で練習しているので、一人ずつみんなの前で弾くことは毎回のレッスンの中では無いんです。そういう意味ではすごくいい勉強になったと思います。で、1人1曲と限らず弾く人は3～4曲弾いて、1時間半位かな発表し合って、その後皆で合奏しました。なかなかいい形で出来たと思います。

そこで、私は皆さんに「あんまり練習できなかったし、この次でいいわ」って言うけど、みなさんはいま一番若くて、フレッシュで、元気がいいですよって、今が最高なんですって。だから今年参加した方が、来年とか再来年とかよりずっといい結果が出ますって話したら、結構みんな考えてくれています。



司会・・・ありがとうございます。では、次に行きます。きょうの一番の議題は、5月の連休あたりで募集要項を送るので、柴崎先生のところには送られていないですよ。(来ていない)、お誘い文の方は、今回コロナのこともあるので、その辺のことも入れて、ゲストは無も入れて作りました。で、送られていない人がいるので小神さん、共有画面に出せますか。

準備をしている間に、先日事務局会議をしました。そこで第33回に向けて実行委員長、事務局長、財政、企画、組織のメンバーを決

めました。実行委員長は塚本、事務局長は築山、組織部は宇野、岡田、企画部は小神、財政部は織田、広報部は乙津です。

※その後、司会が「参加のお誘い」文を読み上げ、付け加えたいこと、言い回しなどで意見を申し合いました。

《お誘い文について検討》

・お誘い分と要項の方にだぶって出てくる部分は整理したほうが良い。

・情報が一杯入っているけれど、今年はやる方向だからみんな一緒に協力してやっていこうということをドンと前に出す。この会の意義を改めて皆で確認しあって、ぜひ成功させましょうの方が、「そうだね」という方に持って行ける。

・どれも言いたいことではあるんだけど、ねぎらいのような心をくばる言葉っていうのは開催した会場でこれから始めますよっていうあいさつのときに言葉として伝えればいいかなと感じる。

感染対策を十分取ってやりますっていうところをしっかりと打ち出して、言葉で伝えることと、文章で伝えることを分けるといい。

・まん中の、学びあうというところからは、例年通りのことばです。今年の記事で新しいところは、今まで例えば、ビバアコのこと、東北のこと、など外部とのつながりや広がり、それから前回の例では、前の年に重奏・バンド/アンサンブル・合奏を実施したこととその参加状況が書かれていました。そこを削除して新しい言葉に変えてみました。

《募集要項について》

・譜面の提出部数は、今年は予測困難なので、「申し込み締め切り後、参加者に別途お知らせします。」にする。

・長い曲を演奏される参加者も見られることから、演奏時間についても意見が出されました。(募集要項を注意して見てください)

・シニアの部の B のところにも A と同様に年齢 60 歳以上で、シニアの部 A 以外と書

かないとわかりづらい。

・例えば 60 歳以上だと、シニアで参加しないといけないんですかと言われたことがあります。参加した人はわかっても、何か言い方を変えた方がいいかもしれない。

《楽譜の提出締切りについて》

・送ってくれるのは早い方がいいですけど、今までは、たぶん、音楽センターの合宿の後送ってくる人がいる。

・今年の音楽センターの合宿は、8 月 20 日（金）21 日（土）22 日（日）です。

・今年の開催日 9 月 12 日は、例年と比べて少し早い。審査員の先生方に本番までに楽譜に目を通して頂く時間も必要なので、楽譜の提出締切り日を 8 月 25 日とする。

《その他では》食事について

・新型コロナウイルスの感染防止対策ということで、今年は会館の中に食事のできるところがどこにも無いので、昼食の対策を考える必要がある。

・地下レストランの件ですが、情報の 1 つとしてお伝えします。

食事ができるのは地下レストラン又は外の階段、と書いてあります。で、レストランに問い合わせたところ、9 月 12 日は午前 11 時 45 分～14 時まで 23 名の予約が入っているようです。現在、レストランは 60 名の客席を半分にしているということで非常に厳しいということです。そういう状況だったので、とりあえず 12 時～13 時で 10 名を審査員の先生方の分として予約をしました。

店長とは取りあえず入れておいて、緩和されたら人数が増えるのでその都度連絡をすることになっています。

・厳しいけれど、11 時 45 分～14 時までという 23 名の団体のスキを縫いながら、午前の部、午後の部で予約して時間差で食べてもらえばいいのかな。審査員用の 10 名は確保して動かさないで、後は、14 時以降に今から予約を入れてしまう。お手伝いの人の人

数が出てからでないと割り振りは出来ないと
思ったので、お誘い文に食事は出来ません
と明記するのはいかがでしょうかですね。ちょっと悩む
ところです。

・大事なものは、食事は会館の中ではできない
ことは伝えてあげないといけない。

・手伝いの人も、人員が確保できれば、午前
と午後でわけて食事をとってから来てもら
う。難しいかなあとは思いますが。そこも考
えていかないといけないかなと思います。

《仮チラシについて》

・JAA の後援依頼はまだなので、これは JAA
に早急をお願いしないといけない。

・コロナのことで注意していることを入れる。

・出場者の皆さんが安心して参加できるよう
に、とか入れるといい。みなさんそこが心配
だと思うので。



司会・・・時間が押しているので次へ行きます。
広告のことも話したかったのですが、実
行委員会では今年も、この会は、皆さんの参
加費とか広告を頂く等で成り立っているの
で、このような状況だけど、協力できるところ
は広告を依頼したいねっていう話が出て
いました。次回そのあたりを詰めていきたい
と思います。

では、次、JAA の佐藤さんから提案がある
ので、お願いします。

佐藤・・・前回 3 月 7 日の会議で JAA と関
東で連携して何かをやりたいと提案させて
いただきました。その後 JAA 内部で検討し
て 3 月 28 日の理事会で承認された次の案を
提案いたします。

【提案内容】

JAA は関東演奏交流会に 3 つの協力をさせ
ていただくので JAA 会員が関東アコーディ
オン演奏交流会に参加する場合の参加料を
割引してほしい。

<具体的な協力内容>

①JAA は広告料と別に関東演奏交流会に一
定の協賛金を出す。

②関東演奏交流会と期間が重複しないよう
「インターネットわくわく広場」の開催時期
を 1 か月ずらす。

③ インターネット活用のノウハウ提供や、
JAA メールマガジンでの告知・参加呼びか
けなど、関東演奏交流会の運営に協力する。
以上です。

この提案が実現すれば、割引によって JAA
会員の参加増が見込めるため、関東演奏交
流会側には参加者が増えるメリットがあり、
JAA 側には会員の満足度が向上して入会
のきっかけにもつながるメリットがあり、お互
いの活動の基本方針に合っていると考えま
す。大胆で新しい試みではありますが、アコ
ーデียนの世界をより楽しくするために
ご検討いただけないでしょうか。

なお、事前に小神さんに相談した際に、参加
者が増えすぎるとコロナ禍での運営に支障
が出るという声があると聞きましたが、その
点については上限を設ければよいのではない
かというのが JAA としての意見です。

司会・・・はい、ありがとうございます。事前
に小神さんから話を聞いて、先日実行委員で
検討しました。塚本さん報告をお願いします。

塚本・・・はい。今回、こういう提案があっ
て、一緒にやりたいという気持ちはあるの
ですが、組織として、JAA は会員制度で、関
東は一般的なボランティアの活動と、運営の
形態が違うので、この提案は受け入れないこ
とにしたいという話になりました。

佐藤・・・組織の形が違うことはわかります
が、それでなぜ受け入れられないのかがわ
かりません。理事会に報告できるよう、納得
できる理由を聞きたいです。また、全く受け
入れられないということではなく、こういう
形ならできるという、そんな議論ができれば
と思っていますが、いかがでしょうか？

織田・・・JAA から協賛金をいただくので
赤字にはならないのですが、割引分は関東側
も一部負担することになるので、参加費で運

営をしている団体として、個人の割引を負担するというスタイルがちょっと難しいのではないかと考えています。

岡田・・・関東演奏交流会は参加者の参加意思と参加費用で賄っている 1 本筋が通った組織だと思っています。参加する人の中には JAA を知らない人もいるし、知っていても入らない人もいます。参加料に差が出ることは、私は、同じ場で演奏するものとしては不平等だと思います。それから、主催者がお金のことで右往左往せず、独立性を持っていた方がきちんとできるかなと思っています。

小神・・・参加者が増えすぎたら上限を設ければよいということですが、そうすると結局、関東側には参加者が増えるメリットがないと思いました。

佐藤・・・JAA としては別に上限は設けなくても良いのですが。

小神・・・この状況では上限を設けざるを得ないでしょう。だからコロナ禍でなければ良い提案なのになあという話は実行委員の中でもあったんです。

佐藤・・・逆に、今年は参加者を集めるのが大変じゃないかという声が JAA の中ではあったんですか、それは大丈夫なんでしょうか？

小神・・・コロナの関係で「時間」がいま問題になっているので、参加者が少ないのは逆に助かるんです。予算的には苦しくなるんだけど、進行上は助かる。

佐藤・・・なるほど。

織田・・・今回、ゲスト演奏を行わない分予算が少なくても済むということもあり、参加者が少なくても何とか運営できるのではないかと考えています。また、学びあう場とうたっている以上、募集人数に上限を設けることは、私個人としてはしたくないと思っています。今年に関しては参加者が少なくても仕方がなくて、それよりは、関東アコの方の今の姿勢を守っていく方に重きを置いていいん

じゃないかなと思います。

岡田・・・佐藤さんのお考えは熱心で意図されることも理論的に伝わってきて素晴らしいと思いますが、新しいシステムを導入するには、今コロナのことも絡んでいるので、もう少し話を詰めていく必要があります、時期尚早かなと思います。導入するために小神さんと佐藤さんだけに負担がいくようなことがあってはいけません。ノウハウを持っている方におんぶにだっこで進むのは、組織としてはアンバランスだと思います。

だからこの提案を「無し」とするのではなくて、コロナ禍での運営となる今回については「横において置く」ということにできたらなと私は思っています。申込み方法などが今まで通りじゃないとなると、こんがらがっちゃう参加者の方も多と思いますし、告知のこととか、準備のノウハウを知っていく、実行委員会の力量も踏まえて。

佐藤・・・ありがとうございます。割引の案が「無し」ではなくて、次年度以降にまた検討できるということであれば、JAA にも報告しやすいです。ただ、JAA としては「インターネットわくわく広場」の開催期間をずらしたり、告知の協力はしたいと思っています。ですから、割引は難しいとしても、こういう形では連携ができるという、JAA 側にもメリットがあることを関東の方で考えられることは何かありますでしょうか？

岡田・・・具体的に関東が JAA に何ができるか即答はできませんが、今までの関東と JAA の連携を踏襲しながら、交流をしながら、これからの協力体制とか、ギブ&テイクみたいなことは、またこういう機会があったら話し合えばいいなと思っています。たぶん佐藤さんの構想は壮大なものだと思いますので、表面的にお金云々とか、広告をどうの、と言うよりも、もっと根源的なところを佐藤さん達と話していかないといけないと思いました。

例えば、私は JAA に入っていないのですが、それはどうしてだろうか、どうして JAA の

コンクールに出ないのかなとか、色々なことを考えさせられました。

司会・・・岡田さんが言うように JAA と関東は今までも色々と協力していこうということで、審査事務局の先生方も含めてずっと話してきています。具体的にこういう提案が出てきたのは今回が初めてなので、実行委員会としても、どうしようという戸惑いがあったのは事実です。

提案の中の①は、織田さんも言っていたように、参加費で賄っている演奏交流会なので、崩したくない部分があるというのと、こういう提案をしてくださったので、今後は話し合っていく必要があるなと思います。

②は、関東のことを考えていただいて「インターネットわくわく広場」を 1 カ月ずらしていただく予定なので、それは本当に感謝しています。

③はお互いに運営のことや双方の媒体に載せたりといった情報の共有は私たちも感謝しています。

なので、①に関してはもうちょっと話をしていきたいということで、JAA のみなさんに話していただければと思います。

佐藤・・・はい、わかりました。今後の可能性はあると受け止めたので、今回はちょっと難しいということで JAA 理事会には報告したいと思います。

岡田さんから構想のお話があったので少しお話ししますが、アコーディオンは魅力があるのにまだまだ人口が少なく、マニアックなジャンルとして捉えられている面が大きいと思うんですね。アコーディオンの世界が一体になってより強い魅力を持てたらいいなと思います。

今回、関東に提案させていただいたような連携の形を、他の組織や地域で行われているアコーディオンのイベントにも提案していい、お互いにメリットがあることを探していきたいと思っています。

JAA は日本最大のアコーディオンの組織ですから、割引で何人会員を増やしたいというようなことが目標ではなくて、アコーディオ

ンの世界が一体になって行くためのひとつの方法になっていくんじゃないかという考えが、この提案につながっています。岡田さんがおっしゃっていただいたもう少し深いところの対話をぜひ時間をかけて今後やっていけたらと思います。

結論としては、提案の①と言いますか、割引の件は来年引き続き議論することにして②、③の協力は実施する方向で考えたいと思います。お互いにできる具体的な協力の内容に関しては小神さんと僕で話し合いを続けて行きたいと思います。

司会・・・はい、ありがとうございます。

小神・・・3つの提案に1つ加えて、④番の提案として、役員の交流があってもいいのではないかと思います。具体的には佐藤さんに、今は拡大委員会の中で出てもらっていますが、実行委員とした形で参加していただくのはどうでしょう。JAA も望むのであれば私も JAA の何かの会に出てもいいです。そんな形で、役員ないしは実行委員の交流みたいなことができるといいと思うのですがいかがでしょう。

佐藤・・・すごく嬉しいご提案だと思います。ぜひよろしくお願いします。

司会・・・JAA の提案も佐藤さんありがとうございました。

《その他》

中止になった、「第 32 回」と「30 周年記念コンサート」の財政の決算報告が出ました。監査報告も出て、実行委員会の中では承認したのでお知らせしておきます。

他に、お知らせすることがあれば。

柴崎・・・6 月 26 日（土）に音楽センター柴崎教室の発表会があります。

去年は 6 月に予定していたできなくて、9 月に内々でやりましたが、今年は角笛のホールを借りてやることになりました。うちのクラスにも面白い方がいっぱいいるので、よろしかったら聴きにきていただけたらと思います。

もう1つ、私事ですけれども、この程アコーディオンアンサンブルの楽譜が出ます。
どういう曲かっていうのは、楽譜を見ただけではわからないので、私一人で全部のパートを弾いてそれをアンサンブルに構成してCDをつくっています。関東アコには重奏の部があるけれどアンサンブルの作品って少ないので、皆さんに興味を持っていただけたらすごくいいなと思っております。
多分5月ぐらいに発売されると思います。皆さんも興味あったらぜひのぞいてみてください。

司会・・・最後に、次回は5月になりますが、やはり日曜日ですよね。Zoom会議なので小神さんの都合はどうですか。

小神・・・5月16日かな

柴崎・・・16日の夜だったら大丈夫だと思います。

司会・・・16日の19時（午後7時）からで皆さん大丈夫でしょうか。（はい）それではそこに設定します。

佐藤・・・僕も大丈夫です。もし出させていただく場合は呼んでください。

司会・・・田中さん、画面には出ていないけれども元気ですか、音楽センターの修了演奏会には行きましたか。

田中・・・元気ですよ。合奏しましたよ。

司会・・・早くみんなで演奏会したいし、顔を見たいです。

柴崎先生と佐藤さん、この後会議だそうなので、今日はありがとうございました。

佐藤・・・お時間たくさんいただきありがとうございました。またよろしく願い致します。

司会・・・少し先が見えてきたところで、きょうはみなさん、お疲れさまでした。



■佐藤 将さんは、5月の拡大実行委員会から正式に関東アコの実行委員となりました。
以下、自己紹介です。

実行委員紹介

『佐藤 将（さとう しょう）さん』

- ◎ 日本アコーディオン協会（JAA）仲間を増やそうプロジェクト担当
- ◎ 音楽センター中部金曜教室所属

♯ ♭ ♯ ♯ ♭ ♯ ♯ ♭ ♯ ♯ ♭ ♯ ♯ ♭ ♯



2019年の関東アコーディオン演奏交流会（初心者の部）に参加しました。

納得のいく演奏をするために腕を磨く中で、様々な出会や経験があり、自分の世界が大きく広がりました。この貴重な場の発展に、少しでも貢献できたらうれしいです。

趣味は、日本の世界遺産・史跡・温泉巡り。文を書くこと。食べ歩き。